

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	ボランティアによる森林整備の支援（継続）
流域名	伊豆
実施箇所及び実施日	静岡県伊豆市湯ヶ島国有林 平成22年11月21日（日）
取組の背景及び必要性	<p>地球温暖化防止に寄与する森林整備・保全の推進が求められている。</p> <p>また、シカによる造林地の被害も深刻である。</p> <p>ボランティア団体等の森林整備に対する関心は高く、連携して森林整備を進めていく必要がある。</p>
取組の内容	<p>シカの食害を受けた造林地を再生させるため、ボランティア団体が行う植栽・下刈り等の森林整備活動へのフィールド提供を行ってきた。</p> <p>本年度は保育間伐を行うためのフィールドの提供やその際の技術指導等も実施してきた。</p>
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署：フィールド提供、技術指導
連携協働相手先・役割	ボランティア団体：間伐等森林整備活動

【 参 考 資 料 】

取 組 名	ボランティアによる森林整備の支援（継続）
-------	----------------------

○間伐時の様子



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	マメザクラ保護再生活動（継続・名称変更）
流域名	伊豆
実施箇所及び実施日	静岡県伊豆市筏場国有林現地調査 平成22年4月6日外5月、7月、9月、11月2回、12月の計7回、総会1回
取組の背景及び必要性	皮子平のマメザクラに対する地元の関心は高く、現在、協議会により活動を行っており、引き続き活動を行うこととしている。
取組の内容	平成19年度に伊豆市、県、環境省、地元住民及び署で構成する「天城山皮子平マメザクラ保護協議会」を設立した。
	平成22年度も継続した活動として、①モニタリング木の経過観察、②シカの食害防止のために設置した防護柵内の状況観察、③コスカシバ（害虫）の繁殖を抑えるためのフェロモン剤の設置等を実施した。
	また、種子から発芽させた苗の育成や、現地の実生苗保護のための新たな鹿柵設置し後継樹苗の育成やマメザクラ衰退原因の調査に取り組んできた。
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署：フィールドの提供、皮子平の調査、情報の提供
連携協働相手先・役割	伊豆市、ボランティア団体、環境省、静岡県：皮子平の調査等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 マメザクラ保護再生活動

○鹿柵内の様子



○現地調査の様子



○後継樹苗の育成の様子



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境の美化活動（継続・名称変更）
流域名	伊豆
実施箇所及び実施日	静岡県伊豆市湯ヶ島国有林 平成22年7月22日（木）
取組の背景及び必要性	深刻な社会問題である不法投棄防止への意識の高揚を図るために、森林への不法投棄防止を呼びかける必要がある。
取組の内容	今年度も地元自治体、ボランティア団体等の協力の下に国道沿いの国有林で清掃活動を実施し、新聞報道等を通して不法投棄防止の普及啓発と意識高揚を図ってきた。
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署：フィールドの提供、清掃活動
連携協働相手先・役割	伊豆市等、環境省、ボランティア団体：清掃活動

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林環境の美化活動（継続・名称変更）
-------	--------------------

○清掃活動の様子



## 平成 22 年度 実施メニュー実施結果表

取 組 名	多様な生態系における観察会の実施（継続・名称変更）
流 域 名	伊豆
実施箇所及び実施日	静岡県伊豆市湯ヶ島国有林 平成 22 年 11 月 3 日（水）
取組の背景及び必要性	<p>八丁池周辺は保護林に指定されており、伊豆半島独特のブナが数多く存在する調和のとれた原生林であり、貴重な生態系を有している。</p> <p>このような貴重なブナ林の保護の重要性を理解してもらう必要がある。</p>
取組の内容	<p>新聞公募や署のホームページにより市民等に記事を掲載し、参加を呼びかけた。</p> <p>講師には地元ガイドにより、保護林等の観察会を実施した。</p>
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署：地元住民への情報提供、フィールドの提供
連携協働相手先・役割	市町、ボランティア、地元住民

【 参 考 資 料 】

取 組 名	多様な生態系における観察会の実施（継続・名称変更）
-------	---------------------------

○観察会の様子



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育の実施（新規）
流域名	伊豆
実施箇所及び実施日	静岡県伊豆市湯ヶ島国有林外 平成22年4月21日(水)他 4月1回5月3回6月1回7月2回10月6回11月3回 9校 計15回
取組の背景及び必要性	小中学校を中心とした教育関係に対し森林への意識を高めるための森林環境教育を実施する。
取組の内容	地球温暖化防止等に寄与する森林整備・保全の推進が求められ、それに伴い、地元を中心とした小中学校からの環境教育への要請を受け、森林教室や自然観察、体験林業等に係るフィールドやプログラムを提供するなど、森林環境教育を実施した。
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署：森林教育のフィールドの提供、講師の派遣
連携協働相手先・役割	小中学校等の教育機関：教育方針内容等の情報提供

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林環境教育の実施（新規）

○森林教室の様子



○自然観察会の様子



平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	民有林と国有林が連携した「森林共同施業団地」の設定（新規）
流域名	伊豆
実施箇所及び実施日	下田市及び賀茂郡松崎町内の県営林292ha 水源林造成事業地110ha 国有林156ha 合計558ha 平成22年9月16日「伊豆地域森林整備推進協定」の締結
取組の背景及び必要性	スギ・ヒノキ等の人工林においては資源的な成熟が進み、木材等として最大限活用することを通じて、林業・山村の活性化や持続可能な社会の実現が期待されることから、路網の整備、森林施業の集約化を進めるため。
取組の内容	民有林と国有林が連携して効率的な森林整備等に取り組むため、静岡県賀茂農林事務所長、独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター静岡水源林整備事務所長及び伊豆森林管理署長の三者において「伊豆地域森林整備推進協定」を締結し、三者が連携、協力して路網を配置や規格も統一することで林業機械の導入も容易となり、効果的かつ効率的な森林整備を可能とし、伊豆地域の林業・山村の活性化に資する。
国有林担当部局・役割	伊豆森林管理署： 設定した森林共同施業団地内に三者で利用する幹線作業道等を各機関が作設し共同で利用する。
連携協働相手先・役割	静岡県賀茂農林事務所、独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター静岡水源林整備事務所 幹線作業道の共同利用、情報交換

【参考資料】

取組名 民有林と国有林が連携した「森林共同施業団地」の設定（新規）

○協定調印式



○ 計画図

